

MPOWER 2011 要約

WHO は包括的タバコ対策パッケージ MPOWER の最新版を発表しました。

以下はその要点をまとめた文書です。

(翻訳 松崎道幸)

ダウンロード元:

http://www.who.int/tobacco/global_report/2011/en/index.html

MPOWER とは、包括的タバコ対策の頭文字をつなげた用語です。

日本語で言うと、

Monitor tobacco use and prevention policies タバコ使用をタバコ対策の現状をしっかりとつか**もうの M**o

Protect people from tobacco smoke 受動喫煙を追っ**ぱ**らえ！の **P**a

Offer help to quit tobacco use 禁煙治療**を**提供しようのw**O**

Warn about the dangers of tobacco 喫煙は危ない**わ**！の **W**a

Enforce bans on tobacco advertising, promotion and sponsorship タバコの宣伝**ええ**加減にせえの **E**

Raise taxes on tobacco もっとタバコの税金上**が**ら**ん**のかい？の **R**a

タバコ問題の概観

タバコは、世界全体で引き続き予防可能な死亡の主因となっています。毎年 600 万人近くの人命を奪い、数千億ドルの経済的損害を世界に与えています。死亡の多くは低、中所得国で発生しており、この不均衡は今後数十年でさらに拡大するでしょう。もしこのままでは、2030 年には毎年八百万人以上がタバコで殺されるようになり、その 8 割は低、中所得国に住む人々の犠牲となります。今すぐしっかり対策を講じなければ、21 世紀中にタバコによって殺される人は十億人に達するでしょう。

世界保健機関タバコ規制枠組み条約 World Health Organization Framework Convention on Tobacco Control (WHO FCTC) は、タバコ規制を強化して命を救うという地球全体の政治的意志を象徴したものです。WHO FCTC は、法的義務を締約国に課した国際条約であり、各国が増大中のタバコ厄災を減らすためのタバコ規制

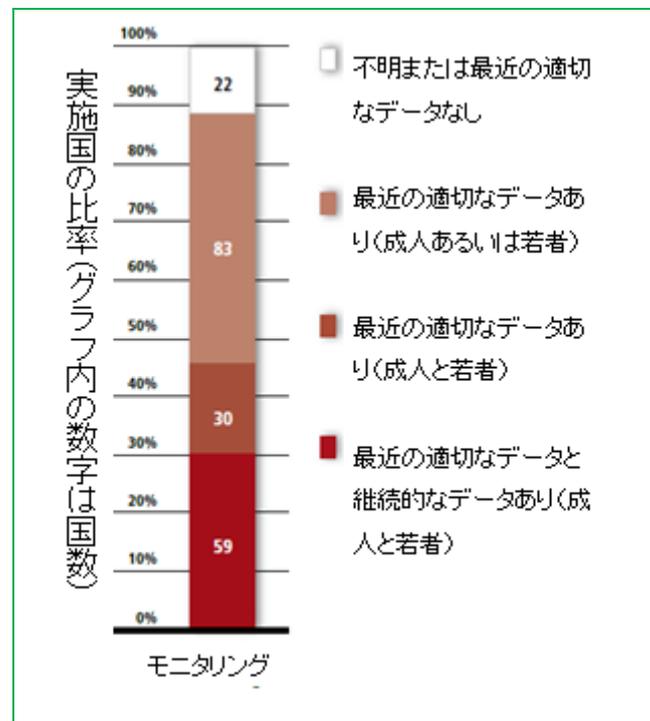
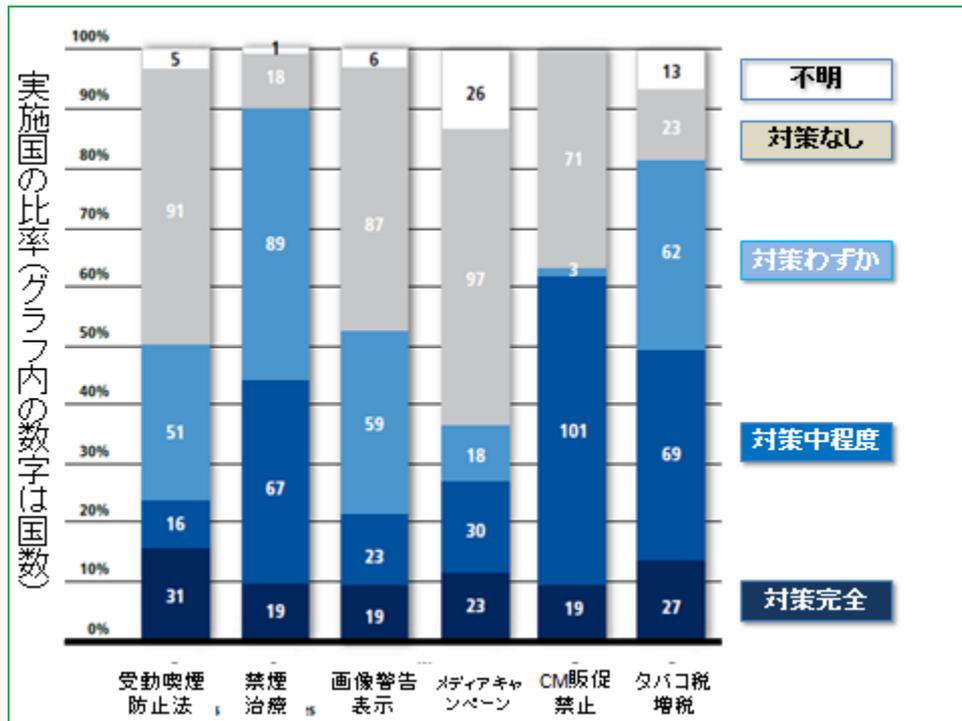
プログラムを作り実施するための基盤を提供するものです。2011 年現在 WHO FCTC には世界人口の 83% をカバーする 173 カ国が加盟しており、国連史上もっともはやく承認された条約の一つとなっています。

各国が WHO FCTC の義務を履行することを援助するために、2008 年に WHO はタバコ使用とタバコによる死亡を減らす事が立証された 6 分野にわたるタバコ規制対策を MPOWER という名前の下にまとめたプランを打ち出しました。MPOWER は、タバコ消費を減らすための効果的な政策を実施するための国内法の制定を実践的に支援する方策を述べています。MPOWER は、タバコの消費低減策を集中的に取り上げていますが、WHO が WHO FCTC にうたわれた供給面の対策の重要性を認識しその実施を進めていることも言うまでもありません。

WHO FCTC が引き続き効果を上げていることは、今年の WHO

Report on the Global Tobacco Epidemic, 2011 (訳注:本書のこと)に詳しく述べられています。このレポートは国際的タバコ規制政策の成果をまとめた 3 冊目の WHO 報告書です。本書には 2010 年以降の MPOWER の 6 分野の成果の達成度が国毎に更新されて示されています。また、タバコの危険を市民に知らせる有害警告表示に関するデータも追加されています。

データ分析の更新と改善を進めるために、政策の到達度に関するカテゴリー分けを修正したり、可能な場合、WHO FCTC の新規改訂ガイドラインの内容に合うように変更しています。2009 年の報告書のデータについては、直接比較が可能になるように、新しいカテゴリー分類に合うように解析し直しました。今年は、簡単なサマリーの印刷版と詳しい国別データのオンライン版を発表しています (<http://www.who.int/tobacco>)。



MPOWER の到達点

総合的な国際的タバコ対策である MPOWER は着実に進んでいます。およそ 38 億人(全人口の 55%)が一つ以上の MPOWER 対策分野で最も対策が進められた国と地域に居住しています。2008 年から現在までに 11 億人が新たな対策の下で暮らし始めました。

■ この MPOWER 報告書で初めて触れるマスメディア・キャンペーンについては、19 億人の人口を持つ 23 カ国で実行され、2009 と 2010 年には、反タバコマスメディア・キャンペーンとしての成功事例がたくさん生まれました。

■ 最も多くの人々に適用されたタバコ対策は、タバコパッケージの健康警告表示に関する分野です。4 億 5800 万人の人口を擁する 3 カ国が、新たに最も望ましいタバコパッケージのラベルに関する法律を成立させました。

■ 地方レベルのマスメディア・キャンペーンの状況はきちんと調査されていませんが、地方レベルでも実に多くの反タバココマーシャルが流されたとみられます。

■ 公衆の利用するすべての施設と職場を完全禁煙にする国内法は新たに 16 カ国、3 億 8500 万人の地域で制定されました。また、1 億人をカバーする包括的完全禁煙法が新たに地方レベルで制定されました。

■ タバコをやめるための包括的サービス制度が新たに 7600 万人の人口を持つ 1 カ国で作られました。

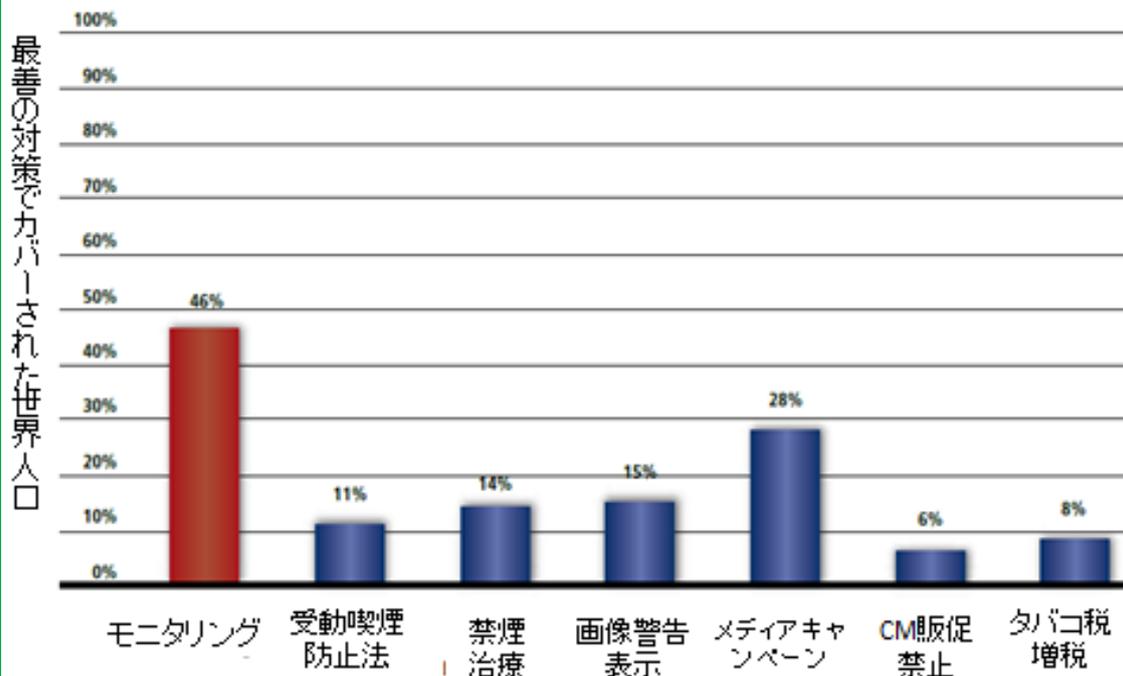
■ あらゆるタバコの宣伝、販売促進、スポンサー活動を禁止する法律が合計 8000 万人の人口を持つ 3 カ国で新たに成

立しました。

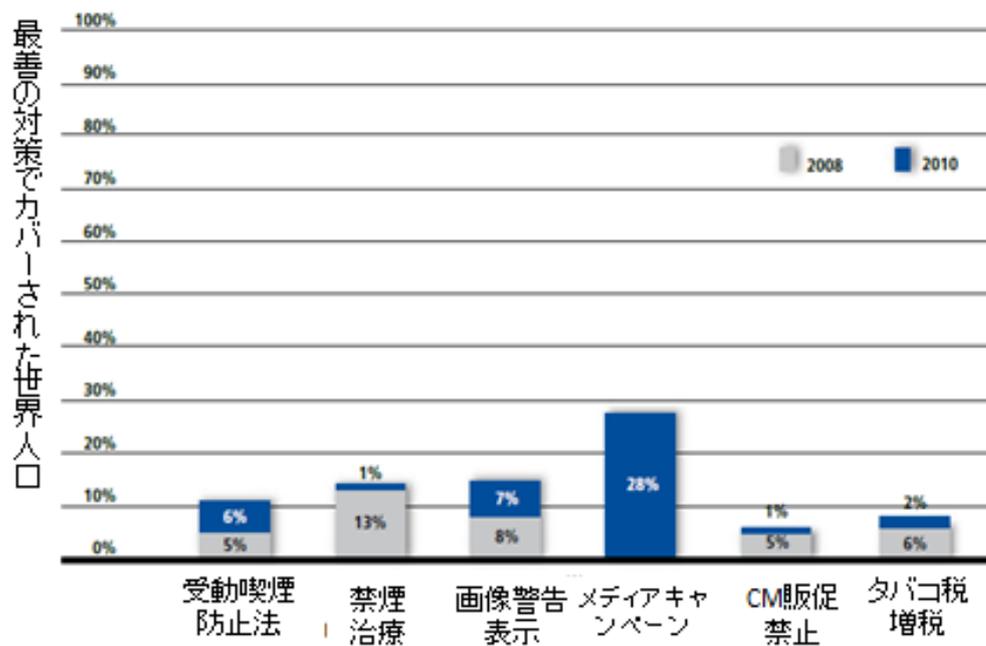
■ 望ましいタバコ課税基準を満たす国々が増え、新たに 1 億 1500 万人がそのような国に暮らしています。現在 26 の国と 1 つの地域が、小売り価格の 75%以上をタバコ税として徴収するようになっています。

■ 歳入増のためにタバコ税を増税している国が多いにもかかわらず、政府からタバコ規制対策には十分な資金拠出はなされていません。世界中で毎年 1330 億米ドルのタバコ税が徴収されていますが、タバコ対策に支出される資金は 10 億ドルを下回っています。特に低～中所得国でこの傾向が顕著です。

最善のタバコ規制策でカバーされた世界人口の比率 2011年



最善のタバコ規制策でカバーされた世界人口の比率 2008年と2010年の比較



結論

WHO FCTC は毎年数百万人の犠牲者と巨額の経済損失をもたらす世界的タバコ流行を全世界が断固とした対策によって食い止める持続的意志を表明したものです。WHO FCTC の加盟国は全世界の人口の 87%を占める 173 カ国が批准しており、それらの国々には効果的なタバコ規制対策を実施する法的義務が負わされています。WHO FCTC は、各国に、きちんと実施されたならタバコ消費を減らし命を救うことのできる、必要不可欠なタバコ規制方策を呈示しています。

この WHO Report on the Global Tobacco Epidemic, 2011 に述べられた MPOWER 対策の事例は、政治体制や所得レベルにかかわらず、タバコ消費を減らす事のでき

る効果的なタバコ規制対策を実行することが可能であることを示しています。MPOWER 対策で最高の達成度に属する国が増えることは、WHO FCTC の成功を裏書きするものです。また、国内レベルでも国外レベルでも素晴らしい成果をもたらす事のできるタバコ規制対策を実行する政治的意志が存在する証拠を示しています。

タバコの流行との戦いに大きな成果を収めた国はたくさんあります。こうした国々はまだ効果的な対策を実施していない国々の手本となるものです。各国はタバコ規制のための努力を広げ強化して、効果的で持続可能なタバコ規制対策を実行するための資金と政策措置を確保することが必要

です。

多くの国々でタバコ規制対策が大きく前進したとはいえ、まだまだ課題があります。これまでに達成された成果を活用しさらに拡大して、全世界の人々がタバコ使用の害から十分に保護されるようにすることが対策を進めることが必要です。前進を続けることによって毎年タバコ関連疾患で殺される数百万人の命を救い、タバコ関連疾患の治療と生産性損失によってもたらされる数千億ドルの経済損失をなくすことができます。このことを実現できるかどうかは、私たちの努力にかかっています。